

2026(令和8)年度 授業計画

服飾専門課程 アパレル技術科 3年次

目 次

【1】	服飾造形・実習Ⅲ(レディース)	3301
【2】	服飾造形・実習(メンズ)	3302
【3】	立体構成(ドレーピング&パターンメイキング)実習Ⅲ	3303
【4】	卒業制作	3304
【5】	アパレルデザイン・商品企画	3305
【6】	アパレルCGⅢ	3306
【7】	アパレルCADⅢ	3307
【8】	アパレル素材論Ⅲ	3308
【9】	パターンメイキング演習Ⅱ	3309
【10】	特別講義Ⅲ	3310
【11】	インターンシップ	3311
【12】	ファッション実用フランス語	3312

服飾造形・実習Ⅲ（レディース）

藤田 里恵

アパレル技術科 3年 通年(前期) 選択必修 (16単位 講義／実習・実技)

■授業の方針・概要

授業担当者のパタンナーとしての経験と実績を活かし、パターンメイキング技術、素材の知識、縫製技術を併せた総合力を高めるため、メンズの授業と一緒にあらゆるアイテムを学ぶ。更に、量産技術に加えクチュール仕立ての縫製技術を習得する。終了制作では3年間の集大成として、創造性と独創性を追求したデザインを習得した、高度な縫製技術を駆使して高品質な作品を制作する。

■到達目標（学修成果）

メンズ、レディースに関わらず、プロのパタンナーまたはモデリストとして即戦力になる技術者の育成を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。パタンナーまたはモデリストとして、もっとも重要な科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の中でその都度、質問に答え解決する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

PATTERN MAKING II MEN'S WEAR PATTERN MAKING

■参考文献

必要に応じて資料配布

■オフィスアワー・研究室

月曜日（16時00分～17時00分）1041教室（本校舎4階）

■備考

システム上変更ができないため、回数表記は週単位の授業内容である。
記載は最低限の時間であり、予習・復習は各自の進捗状況により異なる為、課題が遅滞しないように各々が必要分を行う。
日程および授業内容を変更する場合もある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 藤田	デザインシャツ オリエンテーション デザイン、素材選定	予習：デザイン考察、素材選び	60分
2回 藤田	デザインシャツ平面製図・トワール組み 企業研修(株)生田プリーツ・(株)小林縫製工業・丸和繊維工業(株)	予習：作図方法・天竺アイロン 復習：企業研修の感想文	60分
3回 藤田	デザインシャツ 工業用パターン作成	予習：修正箇所確認 復習：パターンチェック、寸法確認	90分
4回 藤田	デザインシャツ 部分縫い・裁断	予習：部分縫いの手順を確認 復習：部分縫いのを終わらせる	90分
5回 藤田	デザインシャツ 縫製・仕様書	予習：仕様と縫製手順の確認 復習：仕様と縫製手順の確認	30分
6回 藤田	デザインシャツ 縫製・仕様書	予習：デザイン考察、素材選び 復習：素材選び・パターンを考案	60分
7回 藤田	デザインパンツ 平面製図・トワール組み	予習：作図方法・天竺アイロン 復習：パターン修正	90分
8回 藤田	デザインパンツ 工業用パターン作成	予習：縫製方法を考案 復習：パターンチェック、寸法確認	60分
9回 藤田	デザインパンツ/ベスト、ブルゾンの製図のみ 裁断・部分縫い	予習：素材準備 復習：部分縫いのを終わらせる	60分
10回 藤田	デザインパンツ 縫製・仕様書	予習：素材準備 復習：仕様と縫製手順の確認	60分
11回 藤田	ジャケット 基本デザイン平面製図	予習：スケジュールを組み立てる 復習：パターンを考案	60分
12回 藤田	ジャケット デザイン・素材選定	予習：パターン作図・素材選定 復習：毛芯の据え方、ハ刺しの縫い方	90分
13回 藤田	ジャケット パターン作成	予習：素材・使用付属の準備 復習：パターン確認・修正	60分
14回 藤田	ジャケット トワール組み	予習：バランスの確認 復習：修正の確認	60分
15回 藤田	パターンメイキング技術試験対策（集中授業）	予習：作図方法の確認 復習：作図方法の確認	120分

服飾造形・実習Ⅲ（レディース）

藤田 里恵

アパレル技術科 3年 通年(後期) 選択必修 (16単位 講義／実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 藤田	ジャケット 工業用パターン作成	予習：縫製方法を考案 復習：工業用パターン作成	60分
2回 藤田	ジャケット 工業用パターン作成	予習：工業用パターン作成 復習：遅滞箇所確認	60分
3回 藤田	ジャケット 縫製	予習：縫製に取り組む 復習：縫製に取り組む	90分
4回 藤田	ジャケット 縫製	予習：縫製に取り組む 復習：縫製に取り組む	60分
5回 藤田	ジャケット・コート 縫製 仕様書	予習：復習：仕様と縫製手順の確認 復習：遅滞箇所確認	90分
6回 藤田	卒業制作 デザイン決定・素材選定	予習：スケジュールを組み立て・D考察 復習：素材選び・パターンを考案	60分
7回 藤田	卒業制作 パターン作成・素材選定	予習：パターンを考案・素材選定 復習：天竺にアイロンをかける	60分
8回 藤田	卒業制作 パターン作成・トワル組み	予習：素材・使用付属の準備 復習：パターン修正	60分
9回 藤田	卒業制作 トワル組み	予習：素材・使用付属の準備 復習：パターン修正	60分
10回 藤田	卒業制作 工業用パターン作成	予習：縫製方法を考案 復習：工業用パターン作成	60分
11回 藤田	卒業制作 裁断・工業用パターン作成	予習：工業用パターン作成 復習：遅滞箇所確認	60分
12回 藤田	卒業制作 裁断・縫製	予習：縫製手順を考える 復習：縫製に取り組む	90分
13回 藤田	卒業制作 裁断・縫製	予習：縫製手順を考える 復習：縫製に取り組む	90分
14回 藤田	卒業制作 縫製・プレゼンテーション資料作り	予習：縫製に取り組む 復習：プレゼンテーション準備	90分
15回 藤田	卒業制作 縫製	予習：プレゼンテーション準備 復習：遅滞箇所確認	60分

服飾造形・実習（メンズ）

坂口 英明、藤田 里恵

アパレル技術科 3年 通年(前期) 選択必修（16単位 講義／実習・実技）

■授業の方針・概要

授業担当者のデザイナーとパタンナー両方の経験と実績を活かし、メンズパターンを作成する為に必要な人体構造から採寸方法、名称、加工方法等を理解し、レディースとメンズの違いを学び、メンズパターンメイキング及びメンズの縫製方法、素材、付属等を学び、実践する。

終了制作では3年間の集大成として、創造性と独創性を追求したデザインを、習得した高度な縫製技術を駆使し、高品質な作品を制作する。

■到達目標（学修成果）

メンズの人体構造を把握し、寸法出しの計算方法を学び、メンズパターンメイキングの基礎をマスターし、メンズテーラードの良し悪しを判断できる感覚を養う事を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業するために必要な科目。メンズパタンナーとして重要な科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の中でその都度、質問に答え解決する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(7レクレーション含む)	70%
期末試験・課題(7レクレーション含む)	10%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

MEN'S WEAR PATTERN MAKING

■参考文献

必要に応じて資料配布

■オフィスアワー・研究室

月曜日（16時00分～17時00分）1041教室（本校舎4階）

■備考

システム上変更ができないため、回数表記は週単位の授業内容である。

記載は最低限の時間であり、予習・復習は各自の進捗状況により異なる為、課題が遅滞しないように各々が必要分を行う。日程および授業内容を変更する場合もある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 坂口	シャツ オリエンテーション デザイン、素材選定	予習：デザイン考察、素材選び	60分
2回 坂口	デザインシャツ平面製図・トワール組み 企業研修(株)生田プリーツ・(株)小林縫製工業・丸和繊維工業(株)	予習：作図方法・天竺アイロン 復習：企業研修の感想文	60分
3回 坂口	デザインシャツ 工業用パターン作成	予習：修正箇所確認 復習：パターンチェック、寸法確認	90分
4回 坂口	デザインシャツ 部分縫い・裁断	予習：部分縫いの手順を確認 復習：部分縫いのを終わらせる	90分
5回 坂口	デザインシャツ 縫製・仕様書	予習：仕様と縫製手順の確認 復習：仕様と縫製手順の確認	30分
6回 坂口	デザインシャツ 縫製・仕様書	予習：デザイン考察、素材選び 復習：素材選び・パターンを考案	60分
7回 坂口	デザインパンツ 平面製図・トワール組み	予習：作図方法・天竺アイロン 復習：パターン修正	90分
8回 坂口	デザインパンツ 工業用パターン作成	予習：縫製方法を考案 復習：パターンチェック、寸法確認	60分
9回 坂口	デザインパンツ/ベスト、ブルゾンの製図のみ 裁断・部分縫い	予習：素材準備 復習：仕様と縫製手順の確認	60分
10回 坂口	デザインパンツ 縫製・仕様書	予習：素材準備 復習：仕様と縫製手順の確認	60分
11回 坂口	ジャケット 基本デザイン平面製図	予習：スケジュールを組み立てる 復習：パターンを考案	60分
12回 坂口	ジャケット デザイン・素材選定	予習：パターン作図・素材選定 復習：毛芯の据え方、ハ刺しの縫い方	90分
13回 坂口	ジャケット パターン作成	予習：素材・使用付属の準備 復習：パターン確認・修正	60分
14回 坂口	ジャケット トワール組み	予習：バランスの確認 復習：修正の確認	60分
15回 藤田	パターンメイキング技術試験対策（集中授業）	予習：作図方法の確認 復習：作図方法の確認	120分

服飾造形・実習（メンズ）

坂口 英明、藤田 里恵

アパレル技術科 3年 通年(後期) 選択必修（16単位 講義／実習・実技）

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 坂口	ジャケット 工業用パターン作成	予習：縫製方法を考案 復習：工業用パターン作成	60分
2回 坂口	ジャケット 工業用パターン作成	予習：工業用パターン作成 復習：遅滞箇所確認	60分
3回 坂口	ジャケット 縫製	予習：縫製に取り組む 復習：縫製に取り組む	90分
4回 坂口	ジャケット 縫製	予習：縫製に取り組む 復習：縫製に取り組む	60分
5回 坂口	ジャケット・コート 縫製 仕様書	予習：復習：仕様と縫製手順の確認 復習：遅滞箇所確認	90分
6回 藤田	卒業制作 デザイン決定・素材選定	予習：スケジュールを組み立て・D考察 復習：素材選び・パターンを考案	60分
7回 藤田	卒業制作 パターン作成・素材選定	予習：パターンを考案・素材選定 復習：天竺にアイロンをかける	60分
8回 藤田	卒業制作 パターン作成・トワル組み	予習：素材・使用付属の準備 復習：パターン修正	60分
9回 藤田	卒業制作 トワル組み	復習：パターン修正	60分
10回 藤田	卒業制作 工業用パターン作成	予習：縫製方法を考案 復習：工業用パターン作成	60分
11回 藤田	卒業制作 裁断・工業用パターン作成	予習：工業用パターン作成 復習：遅滞箇所確認	60分
12回 藤田	卒業制作 裁断・縫製	予習：縫製手順を考える 復習：縫製に取り組む	90分
13回 藤田	卒業制作 裁断・縫製	予習：縫製手順を考える 復習：縫製に取り組む	90分
14回 藤田	卒業制作 縫製・プレゼンテーション資料作り	予習：縫製に取り組む 復習：プレゼンテーション準備	90分
15回 藤田	卒業制作 縫製	予習：プレゼンテーション準備 復習：遅滞箇所確認	60分

立体構成（ドレーピング&パターンメイキング）実習Ⅲ

藤田 里恵

アパレル技術科 3年 通年(前期) 必修 (3単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

授業担当者のモデリストとしての経験と実績を活かし、さまざまなデザインに対応できるドレーピング技術とパターン展開技術を修得させる。ドレーピングによりシルエットを出した後、パターン展開でもシルエットを再現する。またはその逆の作業を反復することで、立体と平面の両方から服の構造を理解することができ、パタンナーに必要なあらゆるデザインに対応できる技術力と感覚を養うことができる。

■到達目標（学修成果）

2年次に行った立体構成の基本を基に、レベルアップした立体構能力と空間認識力を養うことを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の中でその都度、質問に答え解決する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じて資料配布

■オフィスアワー・研究室

月曜日（16時00分～17時00分）1041教室（本校舎4階）

■備考

記載は最低限の時間であり、予習・復習は各自の進捗状況により異なる為、課題が遅滞しないように各々が必要分を行う。日程および授業内容を変更する場合もある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 藤田	デザイン性のあるアイテムのパターンメイク① トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
2回 藤田	デザイン性のあるアイテムのパターンメイク① トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
3回 藤田	デザイン性のあるアイテムのパターンメイク① トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
4回 藤田	デザイン性のあるアイテムのパターンメイク① トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
5回 藤田	デザイン性のあるアイテムのパターンメイク② トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
6回 藤田	デザイン性のあるアイテムのパターンメイク② トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
7回 藤田	デザイン性のあるアイテムのパターンメイク② トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
8回 藤田	デザイン性のあるアイテムのパターンメイク② トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
9回 藤田	デザイン性のあるアイテムのパターンメイク② トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
10回 藤田	就職に向けてのジャケット① トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
11回 藤田	就職に向けてのジャケット① トワルを立体と平面で作成	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	40分
12回 藤田	就職に向けてのジャケット① トワルを立体と平面で作成	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	40分
13回 藤田	就職に向けてのジャケット① トワルを立体と平面で作成	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	40分
14回 藤田	就職に向けてのジャケット① トワルを立体と平面で作成	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	40分
15回 藤田	就職に向けてのジャケット① トワルを立体と平面で作成	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	40分

立体構成（ドレーピング&パターンメイキング）実習Ⅲ

藤田 里恵

アパレル技術科 3年 通年(後期) 必修 (3単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 藤田	就職に向けてのジャケット② トワルを立体と平面で作成	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	40分
2回 藤田	就職に向けてのジャケット② トワルを立体と平面で作成	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	40分
3回 藤田	就職に向けてのジャケット② トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
4回 藤田	就職に向けてのジャケット② トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
5回 藤田	就職に向けてのジャケット② トワルを立体と平面で作成	復習：パターン考案	40分
6回 藤田	卒業制作に伴うトワルの作成 （卒業制作のシラバスに順ずる）	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	60分
7回 藤田	卒業制作に伴うトワルの作成 （卒業制作のシラバスに順ずる）	予習：デザイン画のパターン考案 復習：立体と平面の関係性を考える	60分
8回 藤田	卒業制作に伴うトワルの作成 （卒業制作のシラバスに順ずる）	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	60分
9回 藤田	卒業制作に伴うトワルの作成 （卒業制作のシラバスに順ずる）	予習：デザイン画のパターン考案 復習：立体と平面の関係性を考える	60分
10回 藤田	卒業制作に伴うトワルの作成 （卒業制作のシラバスに順ずる）	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	60分
11回 藤田	卒業制作に伴うトワルの作成 （卒業制作のシラバスに順ずる）	予習：デザイン画のパターン考案 復習：立体と平面の関係性を考える	60分
12回 藤田	卒業制作に伴うトワルの作成 （卒業制作のシラバスに順ずる）	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	60分
13回 藤田	卒業制作に伴うトワルの作成 （卒業制作のシラバスに順ずる）	予習：デザイン画のパターン考案 復習：立体と平面の関係性を考える	60分
14回 藤田	卒業制作に伴うトワルの作成 （卒業制作のシラバスに順ずる）	予習：デザイン画のパターン考案 復習：天竺の地直し	60分
15回 藤田	卒業制作に伴うトワルの作成 （卒業制作のシラバスに順ずる）	予習：デザイン画のパターン考案 復習：立体と平面の関係性を考える	60分

卒業制作

藤田 里恵

アパレル技術科 3年 後期 必修 (4単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

3年間で培った技術と感性を昇華させ、独自のコンセプトに基づいたコレクションを2体以上制作する。デザイン・パターン・縫製の全工程を自ら完結させることで、ものづくりの真髄を体得し、3年間の集大成とする。指導においては、担当講師のボタンナーとしての実務経験に基づき、「意図したシルエットを実現するための構造理解」や「既製服としての完成度」を徹底的に追求する。最終評価は、ファッション業界の第一線で活躍するプロを審査員に迎え、多角的な外部評価を行う。

■到達目標（学修成果）

3年間養ってきた、ファッション感覚及び技術力の確認を行う。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目になる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の中でその都度、質問に答え解決する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

月曜日（16時00分～17時00分）1041教室（本校舎4階）

■備考

システム上変更ができないため、回数の表記は週単位の授業内容である。記載は最低限の時間であり、予習・復習は各自の進捗状況により異なる為、課題が遅滞しないように各々が必要分を行う。日程および授業内容を変更する場合もある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 藤田	デザイン決定・素材選定	予習：デザイン画検討・生地選び	60分
2回 藤田	パターン作成・素材選定	予習：生地選び 復習：パターン考案	60分
3回 藤田	パターン作成	予習：生地選び 復習：パターン考案・天竺アイロン	60分
4回 藤田	パターン作成・トワル組み	予習：素材・使用付属の準備 復習：パターン考案	40分
5回 藤田	トワル組み	予習：素材・使用付属の準備 復習：パターン考案・修正	90分
6回 藤田	トワル組み	予習：素材・使用付属の準備 復習：パターン修正	90分
7回 藤田	トワル組み	予習：素材・使用付属の準備 復習：パターン修正	90分
8回 藤田	工業用パターン作成・部分縫い	予習：縫製方法を考案・部分箇所の確認 復習：工業用パターン作成	90分
9回 藤田	工業用パターン作成・部分縫い	予習：縫製方法を考案 復習：工業用パターン作成・部分箇所の縫製	90分
10回 藤田	工業用パターン作成・部分縫い	予習：縫製手順を考える 復習：工業用パターン作成・部分箇所の縫製	90分
11回 藤田	裁断・工業用パターン作成	予習：縫製手順を考える 復習：工業用パターン作成	120分
12回 藤田	裁断・工業用パターン作成	予習：縫製手順を考える 復習：工業用パターン作成	120分
13回 藤田	裁断・縫製	予習：縫製手順を考える 復習：工業用パターン作成	120分
14回 藤田	裁断・縫製	予習：縫製に取り組む 復習：遅滞箇所確認	120分
15回 藤田	裁断・縫製	予習：縫製手順を考える 復習：縫製に取り組む	120分
16回 藤田	裁断・縫製	予習：縫製手順を考える 復習：縫製に取り組む	120分
17回 藤田	縫製・プレゼンテーション資料作り	予習：縫製に取り組む 復習：遅滞箇所確認	120分
18回 藤田	縫製・プレゼンテーション資料作り	予習：縫製に取り組む 復習：プレゼンテーション準備	120分
19回 藤田	縫製・プレゼンテーション資料作り	予習：縫製に取り組む 復習：プレゼンテーション準備	120分
20回 藤田	縫製・提出	予習：プレゼンテーション準備 復習：遅滞箇所確認	60分

アパレルデザイン・商品企画

赤川 順子

アパレル技術科 3年 通年(前期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

ファッションデザイナー、ディレクターとしての企業実務経験者による授業。
アパレルデザイン・商品企画のプロセスや提供価値の創出方法など、実習を通し学び理解しプレゼンテーションを行う。
期間を限定しファッション業界に特化した生成AI活用支援ツールMaisonAIを使用する。

■到達目標（学修成果）

時代性やニーズをくみ取り、より具体性をもったアパレルデザインや商品企画の立案が行えること。
自らの思考と感性を言語化し、説得力を高めるアウトプットが出来るようになること。
生成AIの使用目的に応じたプロンプトを考え、情報の整理、多角的な視点での検証を行い、納得できる説明に繋げることができること。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業時に必要となる科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題に取り組む過程において随時アドバイスをを行い、プレゼンテーションに対しては講評を行います。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質疑応答に対応いたします。

■備考

日程や授業内容を変更することがあります

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤川	オリエンテーション／商品企画のプロセスと基礎的なマーケティングやスケジュール管理について	注目企業やブランドのリサーチ	45分
2回 赤川	商品企画の狙い・目的について 市場分析とターゲット	注目企業やブランドのターゲットや提供する内容を調べる	45分
3回 赤川	価値のあり方、価値の作り方について	注目ブランドの競合を調べる	45分
4回 赤川	アパレルデザインの展開について①	コレクション情報などからテーマとコンセプトをリサーチする	45分
5回 赤川	アパレルデザインの展開について②	コレクション情報などからテーマとコンセプトをリサーチする	45分
6回 赤川	MaisonAIの機能を知る①	企画提案に必要な情報収集	30分
7回 赤川	MaisonAIの機能を知る②	企画提案に必要な情報収集	30分
8回 赤川	商品企画のプラン考案・資料作成に向けた情報収集 MaisonAI利用	企画提案に必要な情報収集	30分
9回 赤川	商品企画のプラン考案・資料作成に向けたニーズの深掘り MaisonAI利用	企画提案に必要な情報収集	30分
10回 赤川	商品企画のプラン考案・資料作成に向けたビジュアル生成 MaisonAI利用	プレゼン資料の構成案を考える	30分
11回 赤川	商品企画のプラン考案・資料作成に向けたビジュアル生成 MaisonAI利用	プレゼン資料の構成案を考える	30分
12回 赤川	商品企画のプラン考案・プレゼン資料に整理する MaisonAI利用	不足情報などの追加収集	45分
13回 赤川	商品企画のプラン考案・プレゼン原稿を整える MaisonAI利用	プレゼンテーションの準備	45分
14回 赤川	プレゼンテーション／講評 (MaisonAI利用可能)	良い点、課題の整理	30分

アパレルデザイン・商品企画

赤川 順子

アパレル技術科 3年 通年(後期) 必修 (2単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤川	卒業制作へ向けて、取り組みたいテーマや課題などをピックアップ	図書館などの利用でテーマ設定につながる情報収集	60分
2回 赤川	テーマ設定、ムードボードを作る MaisonAI利用	コレクション情報などのデザイン、トレンド情報インプット	45分
3回 赤川	テーマ設定、ムードボードを作る MaisonAI利用	コレクション情報などのデザイン、トレンド情報インプット	45分
4回 赤川	デザインバリエーションの参考となるビジュアル作成 MaisonAI利用	テーマアップの背景など深掘りしたい項目を挙げる	45分
5回 赤川	デザインバリエーションの参考となるビジュアル作成 MaisonAI利用	デザインバリエーションの考案	60分
6回 赤川	ポートフォリオ作成／ページ構成の検討とテーマ、1行コンセプト、キービジュアルを整えるなど	デザインディテールの研究	60分
7回 赤川	ポートフォリオ作成／テーマ設定の背景やリサーチページを整えるなど	デザインディテールの研究	60分
8回 赤川	ポートフォリオ作成／テーマ設定の背景やリサーチページを整えるなど	素材リサーチ	60分
9回 赤川	ポートフォリオ作成／世界観のビジュアルページを整えるカラー、素材、シルエット、ディテールなど含む	素材リサーチ	60分
10回 赤川	ポートフォリオ作成／世界観のビジュアルページを整えるカラー、素材、シルエット、ディテールなど含む	不足している情報がないか、内容の精査をする	30分
11回 赤川	ポートフォリオ作成／コンセプト紹介ページを整えるなど	ポートフォリオに不足している情報の収集	45分
12回 赤川	ポートフォリオ作成／コンセプト紹介ページを整えるなど	ポートフォリオに不足している情報の収集	45分
13回 赤川	ポートフォリオ作成／デザイン紹介ページを整えるなど	多様な質問を想定し、提案内容の説明ができる準備をする	45分
14回 赤川	ポートフォリオ作成／制作プロセス紹介ページを整えるなど	多様な質問を想定し、提案内容の説明ができる準備をする	45分
15回 赤川	プレゼンテーション／リハーサル&ブラッシュアップ	改善点を反映させ、プレゼンに向けた提案内容の更新	60分
16回 赤川	プレゼンテーション／講評	今後更に強化したいポイント、克服したいポイントをおさえる	30分

アパレルC G III

多田 純子

アパレル技術科 3年 通年 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッション業界のみならず、デザイン業務においてスタンダードアプリケーションソフトであるIllustrator・Photoshopのスキルアップを目指し、さまざまな応用テクニックを実践していく。作品のポートフォリオやスタイルブック等、目的に沿ったイメージ表現ができるグラフィックデザイン力・ページ構成力をつける。(グラフィックデザイナーとしての実務経験を活かし授業を行う)

■到達目標 (学修成果)

Illustrator・Photoshopを使い、さらに表現方法の幅を広げ、効果的・効率的に操作できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。

Illustrator・Photoshopを効果的に使いこなす業務をスムーズに遂行する為のスキルが身につく。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。作品はPDFデータで提出、個別講評でフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

随時、授業に合わせてプリント (データ) を配布する

■参考文献

随時、授業内容に合わせてネットから検索。

■オフィスアワー・研究室

4/14～6/23 1回～9回：火曜日 (13時00分～14時35分) 6101教室 (第6校舎1階)

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画 (前期)

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 多田	就活用ポートフォリオ全体の構成案 ～ポートフォリオの必要性・レイアウトの基本	資料解説、配布 アートボード・レイヤーの使い方	30分
2回 多田	就活用ポートフォリオ全体の構成案 ～デザインレイアウト考案・手描きラフ作成 ①	資料解説、配布 イメージ写真等フリー素材のセレクト	30分
3回 多田	就活用ポートフォリオ全体の構成案 ～デザインレイアウト考案・手描きラフ作成 ②	演習：データ整理・確認	30分
4回 多田	就活用ポートフォリオ ～デザインレイアウト PC作業 ①	演習：データ整理・確認	30分
5回 多田	就活用ポートフォリオ ～デザインレイアウト PC作業 ②	演習：データ整理・確認	30分
6回 多田	就活用ポートフォリオ ～デザインレイアウト PC作業 ③	演習：データ整理・確認	30分
7回 多田	就活用ポートフォリオ ～デザインレイアウト PC作業 ④	演習：データ整理・確認	30分
8回 多田	就活用ポートフォリオ ～デザインレイアウト PC作業 ⑤	演習：データ整理・確認	30分
9回 多田	就活用ポートフォリオ ～デザインレイアウト PC作業 ⑥ まとめ・提出	演習：データ整理・確認	30分

■授業計画 (後期)

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 多田	卒制用イメージパネル (A3×2枚) 作成 ～卒制のコンセプト、パネルレイアウト案	資料解説、配布 アートボード・レイヤーの使い方	30分
2回 多田	卒制用イメージパネル (A3×2枚) 作成 ～イメージ写真等フリー素材のセレクト	演習：データ整理・確認	30分
3回 多田	卒制用イメージパネル (A3×2枚) 作成	演習：データ整理・確認	30分
4回 多田	卒制用イメージパネル (A3×2枚) 作成	演習：データ整理・確認	30分
5回 多田	卒制用イメージパネル (A3×2枚) 作成	演習：データ整理・確認	30分
6回 多田	卒制用イメージパネル (A3×2枚) 作成	演習：データ整理・確認	30分

アパレルC A DⅢ

菊地 正哲

アパレル技術科 3年 通年(前期) 必修 (6単位 演習)

■授業の方針・概要

授業担当者のパターンナーとしての実務経験とパターンナーへの技術指導の実績を活かし、アパレルC A Dシステムの実践的な活用法を習得することを目指す。特に企業で即戦力となるように、トータルでC A Dを使いこなせる応用操作の実習を行う。

■到達目標（学修成果）

アパレルC A Dシステムを使い、高度なパターンメイキングの操作と実践的なグレーディング・マーキングの操作、及び3 D機能によるデジタルトワルの作成技術の習得を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要な科目。アパレル企業におけるC A Dシステムをトータルにツールとして使える技術を習得する科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の中で、質問に答えてその都度、解決していく。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(7レクレーション含む)	70%
期末試験・課題(7レクレーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

P A T T E R N M A K I N G I ・ II ・ III ・ M E N ' S W E A R

■参考文献

C R E A C O M P O II オペレーションマニュアル

■オフィスアワー・研究室

金曜日（15時35分～17時00分）6101教室（第六校舎1F C A D室）

■備考

状況により内容変更有り。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 菊地	ドレスシャツ①：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
2回 菊地	ドレスシャツ②：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
3回 菊地	ドレスシャツ③：3 Dデジタルトワル作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
4回 菊地	ドレスシャツ④：工業用パターン作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
5回 菊地	ドレスシャツ⑤：仕様書作成	復習：作成資料を確認する。	30分
6回 菊地	スラックス①：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
7回 菊地	スラックス②：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
8回 菊地	スラックス③：3 Dデジタルトワル作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
9回 菊地	スラックス④：工業用パターン作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
10回 菊地	スラックス⑤：仕様書作成	復習：作成資料を確認する。	30分
11回 菊地	テーラードジャケット①：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
12回 菊地	テーラードジャケット②：パターンメイキング	復習：項目、機能を整理する。	30分
13回 菊地	テーラードジャケット③：3 Dデジタルトワル作成	復習：項目、機能を整理する。	30分
14回 菊地	テーラードジャケット④：工業用パターン作成	予習：裏地の展開を確認しておく。	30分
15回 菊地	テーラードジャケット⑤：工業用パターン作成	予習：裏地の展開を確認しておく。	30分

アパレルCADⅢ

菊地 正哲

アパレル技術科 3年 通年(後期) 必修 (6単位 演習)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 菊地	テーラードジャケット 仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	30分
2回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング①	復習:項目、機能を整理する。	30分
3回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング②	復習:項目、機能を整理する。	30分
4回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング③	復習:項目、機能を整理する。	30分
5回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング④	復習:項目、機能を整理する。	30分
6回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング⑤	復習:項目、機能を整理する。	30分
7回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング⑥	復習:項目、機能を整理する。	30分
8回 菊地	クリエイティブ3Dモデリング⑦	復習:項目、機能を整理する。	30分
9回 菊地	プレゼンテーション	復習:作成資料を確認する。	30分
10回 菊地	卒業制作CAD入力①	復習:項目、機能を整理する。	30分
11回 菊地	卒業制作CAD入力②	復習:項目、機能を整理する。	30分
12回 菊地	マーキング実習①	復習:項目、機能を整理する。	30分
13回 菊地	マーキング実習②	復習:作成資料を確認する。	30分
14回 菊地	グレーディング実習①	復習:項目、機能を整理する。	30分
15回 菊地	グレーディング実習②	復習:作成資料を確認する。	30分

アパレル素材論Ⅲ

赤澤 結花

アパレル技術科 3年 通年 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

今までアパレル素材について学んできたことをもう一度復習することで、より一層理解を深め、パタンナーとして働く上で必要なファブリックの基礎となる知識を確実に身につけることを目的とする。また、実物の布を使用して、その布の持つ風合いや特性を探り、素材にあった形をピンワークすることで、アパレル素材に対するより具体的な感覚を養う。

■到達目標（学修成果）

多様な角度からアパレル素材を見ることで、今まで学んできたことをしっかり身につける。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。アパレル素材の知識を深めることは、より充実した作品制作とアパレル企業で働く上で必要なスキルの向上に繋がる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

筆記テスト終了後に内容の解説を行い、課題提出物については講評を行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて資料の配布

■参考文献

アパレル素材の基本 鈴木美和子・窪田英男・徳武正人著 織研新聞社/テキスタイル用語辞典 成田典子著 (株)テキスタイル・ツリー

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日（16時00分～17時00分）5201教室（第5校舎2階）

■備考

授業内容は変更することもある

■授業計画（前期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤澤	生地テストと復習	復習：再確認	30分
2回 赤澤	機能素材を使用したピンワークⅠ	復習：出来上がりのチェック	30分
3回 赤澤	機能素材を使用したピンワークⅡ	復習：出来上がりのチェック	30分

■授業計画（後期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤澤	化学合成繊維についてⅠ	復習：ノートを見返す	30分
2回 赤澤	化学合成繊維についてⅡ	復習：ノートを見返す	30分

パターンメイキング演習Ⅱ

藤田 里恵

アパレル技術科 3年 通年 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

パターンメイキング技術検定2級の全員合格を目標とし、プロのパタンナーに求められる正確な図面作成能力と立体構成力を養う。前半は縮尺製図を重きをおき、模擬試験の反復により知識の定着を図る。後半の実技対策では、制限時間内でのトワリング・工業用パターンの完成度を追求。指導においては、パタンナーとしての経験と実績を活かし「美しいシルエットの構築」と「効率的なパターンメイキング」の両立を指導し、検定合格のみならず実務に直結する即戦力を育成する。

■到達目標（学修成果）

「パターンメイキング技術検定試験2級」の取得を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。パターンメイキング技術検定試験2級の結果を参考とする。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の中でその都度、質問に答え解決する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

なし

■参考文献

パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック

■オフィスアワー・研究室

月曜日（16時00分～17時00分）1041教室（本校舎4階）

■備考

記載は最低限の時間であり、予習・復習は各自の進捗状況により異なる為、課題が遅滞しないように各々が必要分を行う。日程および授業内容を変更する場合もある

■授業計画（前期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 藤田	PM技術検定試験の解説	復習：過去問を解く	90分
2回 藤田	理論の解答 縮尺製図の説明・解答	予習：過去問を解く 復習：縮尺の確認	90分
3回 藤田	理論の解答 縮尺製図の説明・解答	予習：過去問を解く 復習：縮尺の確認	90分
4回 藤田	理論の解答 縮尺製図の説明・解答	予習：過去問を解く 復習：縮尺の確認	90分
5回 藤田	理論の解答 縮尺製図の説明・解答	予習：過去問を解く 復習：縮尺の確認	90分
6回 藤田	理論の解答 縮尺製図の説明・解答	予習：過去問を解く 復習：縮尺の確認	90分

■授業計画（後期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 藤田	模擬試験の説明	予習： 復習：パターン考案・天竺アイロン	60分
2回 藤田	模擬試験	予習：デザインのパターン構造を考える 復習：パターン考案・天竺アイロン	60分
3回 藤田	模擬試験	予習：デザインのパターン構造を考える 復習：パターン考案・天竺アイロン	60分
4回 藤田	模擬試験	予習：デザインのパターン構造を考える 復習：パターン考案・天竺アイロン	60分
5回 藤田	模擬試験	予習：デザインのパターン構造を考える 復習：パターン考案・天竺アイロン	60分
6回 藤田	模擬試験	予習：デザインのパターン構造を考える 復習：パターン考案・天竺アイロン	60分
7回 藤田	模擬試験	予習：デザインのパターン構造を考える 復習：パターン考案・天竺アイロン	60分
8回 藤田	模擬試験	予習：デザインのパターン構造を考える 復習：試験に向けてパターンを見直す	90分
9回 藤田	模擬試験	予習：デザインのパターン構造を考える 復習：試験に向けてパターンを見直す	90分

特別講義Ⅲ

藤田 里恵

アパレル技術科 3年 通年 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

アパレル業界で活躍するスペシャリストを招き、アパレル業界の現状からトレンド、企画立案、技術的な部門までの講義を聴き、知識向上と社会人が考える物作りの考え方を学ぶ事を目的とし、自己の知識向上と就職活動に結び付く内容とする。

■到達目標（学修成果）

アパレル業界の物作りの考え方を知見し、社会人になる為の意識向上を目的とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。就職に向けて現状を理解するために必要な科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

レポート提出により理解度を把握、担当教員が点検・返却する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じて資料配布

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問等に対応する。

■備考

外部講師のため、内容や時間等は、先生により変更がある。

■授業計画（前期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外部	トレンドセミナー（QUOTATION）	復習：レポート提出	30分
2回 外部	YKKコンテスト	復習：デザイン画提出	60分
3回 外部	アパレル技術科2年の終了作品の素材講義	復習：企業調査	30分

■授業計画（後期）

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 外部	ミリタリーについて	復習：レポート提出	30分
2回 外部	NYトレンドセミナー	復習：デザイナー研究とレポート提出	30分
3回 外部	最新のコレクション情報	復習：レポート提出	30分
4回 外部	色について	復習：講義内容を調べる	30分
5回 外部	租税について	復習：税金の計算をする	30分

インターンシップ

アパレル技術科 3年 通年 選択 (2単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

インターンシップ（就労体験）を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができる。

■到達目標（学修成果）

学内授業では得られない就労体験を行うことで将来の就職に生かせる理解と能力を身につけることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目ではありません。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、最終報告書提出の講評、報告会による講評を当日その都度フィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

なし

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

授業初日に伝達。就職部

■備考

実務時期、期間：2年生または3年生で8日から10日相当（評価は3年次）

研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。

実施期間等は変更になる事もある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 就職部	オリエンテーション：研修の心得とマナー等について・企業人事の講義「企業が望むインターンシップ」	予習：企業について研究する。	90分
2回 藤田	面談：研修先企業や職種について面談	復習：研修先について検討する。	60分
3回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
4回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
7回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
8回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
2回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
3回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
4回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回 企業	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
7回 企業	事後報告：報告書、研修日誌のまとめ	復習：研修日誌を書き、報告書をまとめる	50分

ファッション実用フランス語

福本 しのぶ

アパレル技術科 3年 前期 選択 (2単位 講義)

■授業の方針・概要

ボンジュール！とフランス語の挨拶から始まり、ファッション大国フランスに行って会話を楽しめる程度になりませんか？簡単な会話を学びながら、フランス語の特徴を把握し、基本的なファッション用語を身につけ、また、映像などを見ながら、フランス・ファッション、文化に触れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけます。可能であればフランス人と会話して、学んだことを実践します。

■到達目標（学修成果）

フランス旅行する時に役立つ表現を覚え使えるようになり、辞書を使って、短い文章の理解や、フランス語圏の通販サイトの最新WEB情報を検索できることを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

選択の場合は卒業要件ではないが、現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎授業にて講義メモを出すので、3回に1度の割合でチェックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。 仏和辞書を購入希望の場合は要相談。

■参考文献

大学図書館のフランス語資料、フランス語サイト。

■オフィスアワー・研究室

前期：金曜日 授業前、授業終了後、教室にて質問など対応。

■備考

衣装博物館の展示内容、フランス人ゲストの都合などにより、授業内容は変更することもある。希望者には、実用フランス語検定試験5級～3級の受検指導を行う。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 1	フランスを知る フランスと日本の関わり合い/違い 基本あいさつ	身の回りのフランス語探し、発音確認	30分
2回 2	アルファベ・発音の決まり・つづり字 ① 【身の回りのフランス語/フランス語の特徴について】	発音確認 講義メモ整理	30分
3回 3	アルファベ・発音の決まり・つづり字 ② 【アクセント/フランス人らしく発音するには】	発音確認 講義メモ整理	30分
4回 4	パリジェンヌのモード（ビデオ） WEB辞書の使い方 【基本的なファッション用語 色、形、物の位置】①	発音確認 講義メモ整理	30分
5回 5	【基本的なファッション用語 色、形、物の位置】② 【国名、国籍、職業】①	発音確認 講義メモ整理	30分
6回 6	【国名、国籍、職業】② 【曜日、月、季節、数字、時刻】①	発音確認 講義メモ整理	30分
7回 7	【曜日、月、季節、数字、時刻】② フランスのファッション学校について	発音確認 講義メモ整理	30分
8回 8	単語を増やそう【名詞の性と数】 動詞 -er動詞	発音確認 講義メモ整理	30分
9回 9	フランスファッション 移民による多様性 動詞 -ir動詞	発音確認 講義メモ整理	30分
10回 10	カフェやレストランで注文する 【フランスのテーブルマナー】	発音確認 講義メモ整理	30分
11回 11	映画を見ながらフランスらしさを見て/聞いて ①	発音確認 講義メモ整理	30分
12回 12	映画を見ながらフランスらしさを見て/聞いて ②	発音確認 講義メモ整理	30分
13回 13	未来 / 過去について話す	発音確認 講義メモ整理 家族紹介を書く	60分
14回 14	基礎を振り返り、家族の紹介	発音確認 講義メモ整理	30分
15回 15	まとめ	全ての講義メモを整理しファイリングしておく	30分